4. 財務分析について

（1）他大学との相対比較（最大値・最小値・平均値）

ミカタ22～24P

財務諸表等の財務データの数値データなどに基づき財務分析を行うことにより、大学が現状を的確に把握し、財務状態等の改善に資するため活用するとともに、国民その他のステークホルダーに対する説明責任のための資料として活用しています。

また、文部科学省において公表されている国立大学法人の財務分析上の分類において、本学は「医科系学部その他の学部を持ち、学部数が概ね10以下の総合大学（Gグループ）」に該当し、本学の立ち位置等を確認するため比較等を行っております。

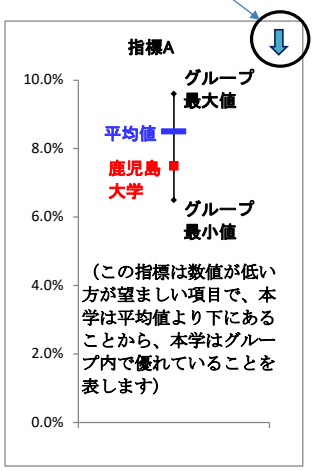
Gグループ

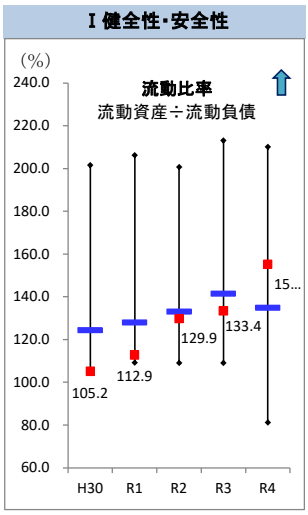
弘前、秋田、山形、群馬、富山、金沢、福井、山梨、信州、三重、鳥取、島根、山口、徳島、香川、愛媛、高知、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、琉球　※岐阜は令和2年度決算から「東海国立大学機構」で整理

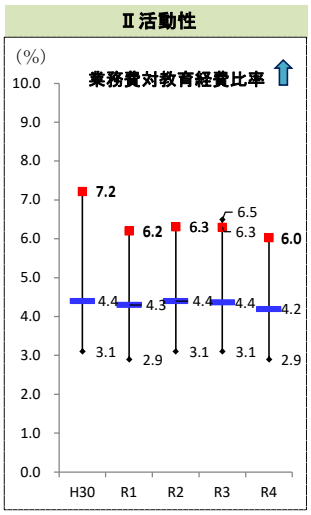
赤は鹿児島大学、青はGグループ（24大学）の平均値を示しており、各指標における本学の位置づけを表しています。

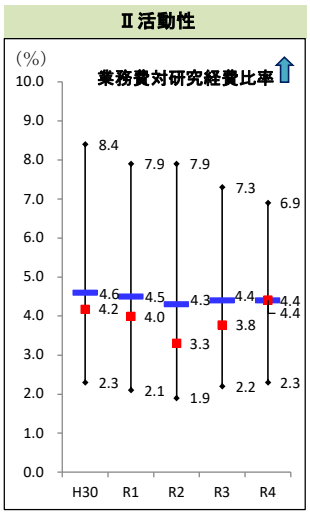
財務指標の各項目における青色の矢印は、矢印の向きがその項目の望ましい方向を示しています。

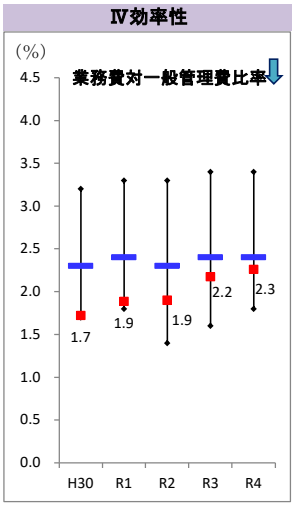
グラフの見方（例）

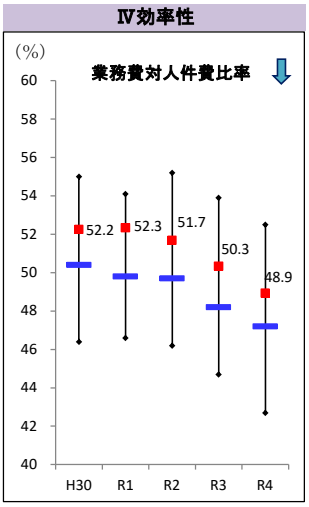


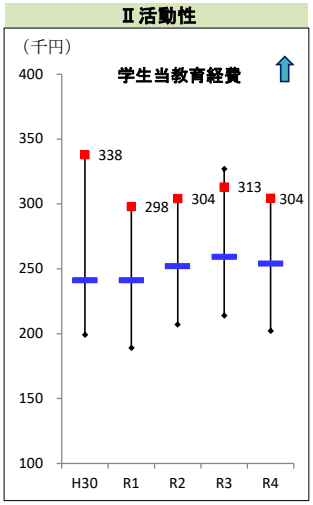


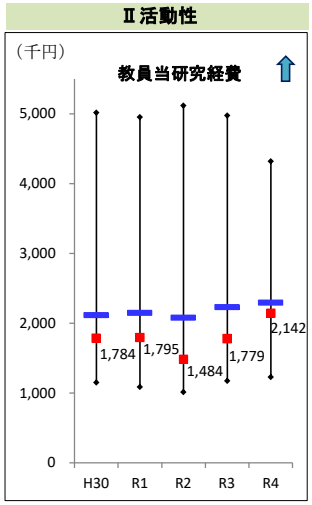


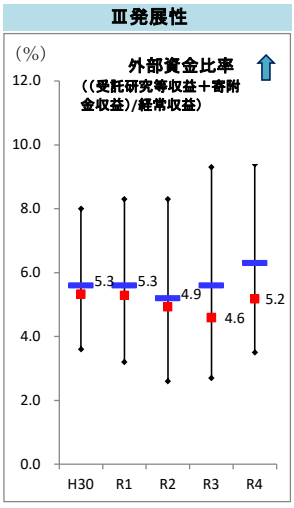


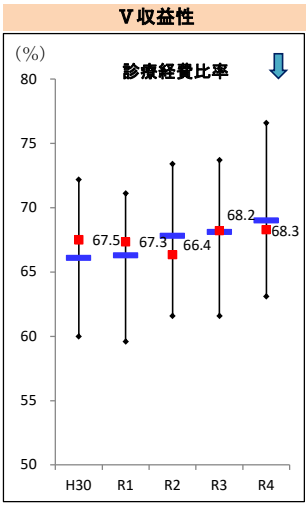


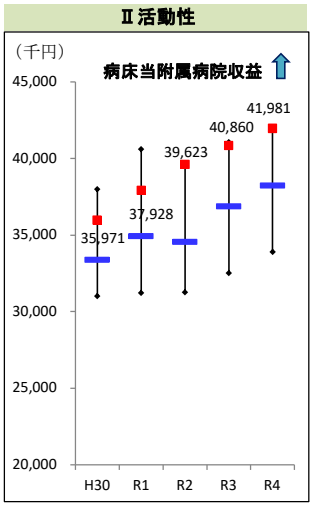


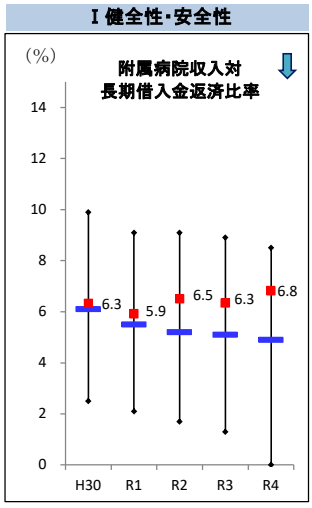






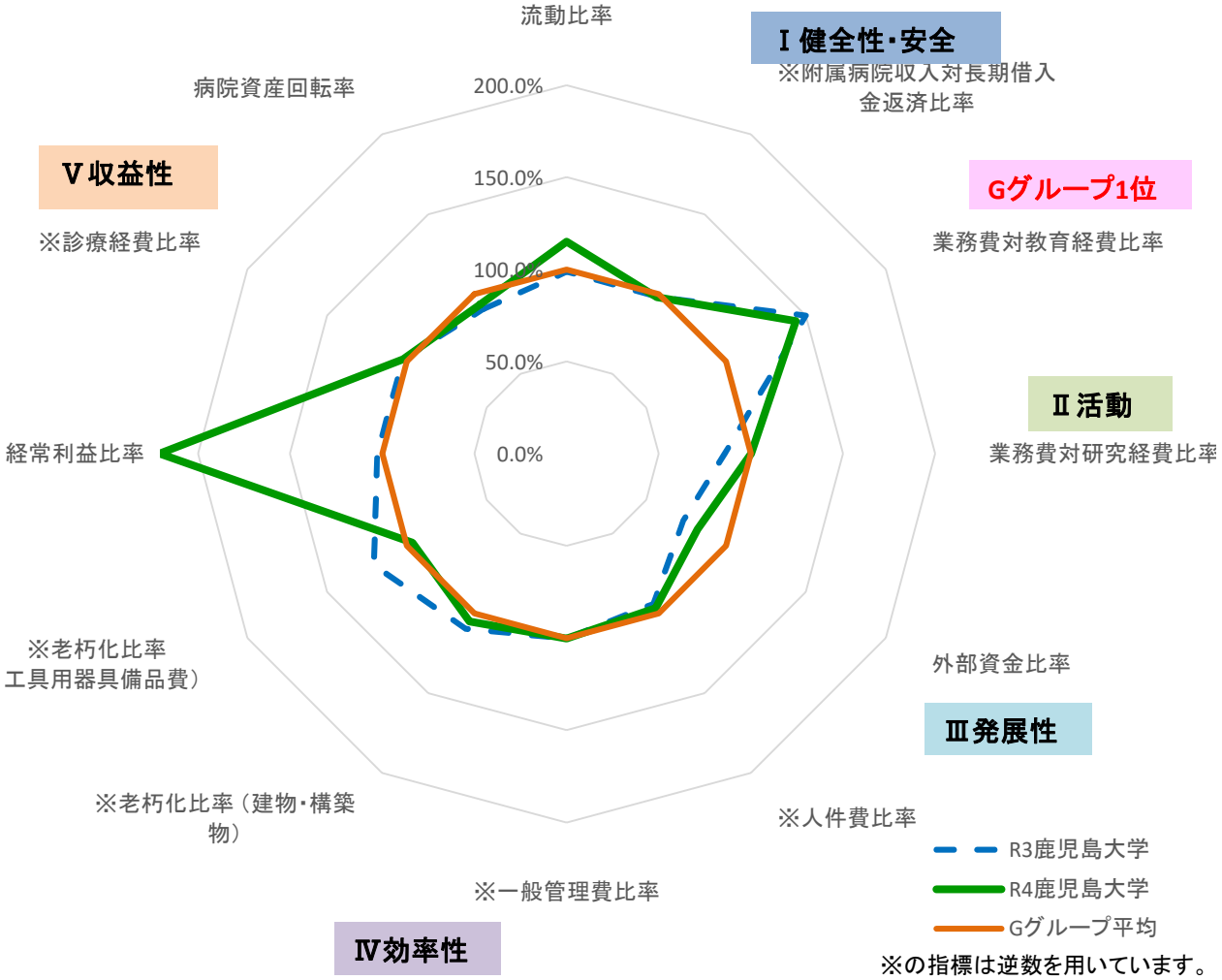






（2）レーダーチャート

国立大学法人は５つの指標体系化を行っており、指標体系及び必要性の高い財務分析に応じてGグループ平均値、昨年度実績及び今年度実績をレーダーチャートにより示しております。外側にいくほど財務上の数値が高くなるように、比率が低い方が望ましいものにつきましては、逆数を用いています。



※の指標は逆数を用いています。

業務費対教育経費比率は、「学生当教育経費」、業務費対研究経費比率は、「教員当研究経費」で下記の分析を行っております。

（3）指標体系

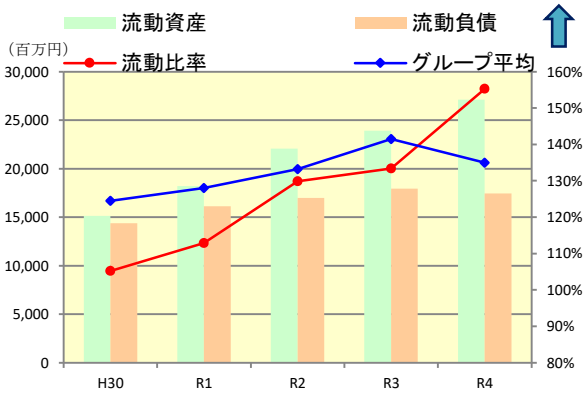
Ⅰ健全性・安全性

Ⅰ－Ⅰ流動比率【流動資産÷流動負債】

１年以内に返済すべき債務に対し、１年以内に現金化が可能な資産がどの程度確保されているかの支払能力を表す指標であり、**数値が高い**ほど運用可能な資金があり、良いとされます。

投資有価証券の解約、病院収入の増加や経費節減等により、現金及び預金が増加した結果、流動比率が高くなっております。

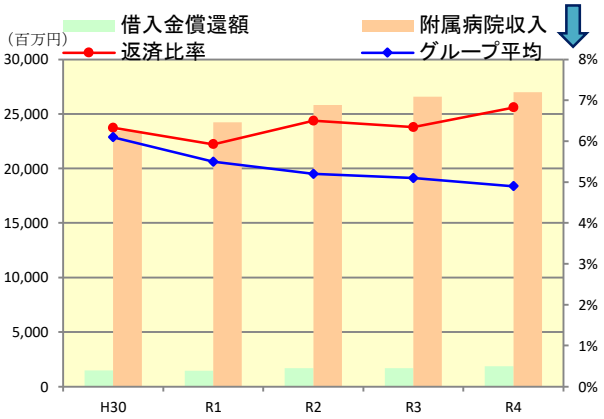
国立大学法人の流動負債には運営費交付金債務や寄附金債務など短期での支払いがない債務が混在しております。



Ⅰ－Ⅱ附属病院収入対長期借入金返済比率
【(長期借入金返済＋大学改革支援・学位授与機構納付金)÷附属病院収入】

附属病院収入に対する借入金に伴う償還経費(元金のみ)の比率を表す指標であり、**数値が低い**ほど診療活動等に向けた財源を確保されているため良いとされています。

附属病院収入が昨年度よりも423百万円(R4:26,995百万円)増加していますが、収入以上に病院再開発計画による借入金に伴う償還額が高額となっているため、附属病院収入対長期借入金返済比率は高くなっております。



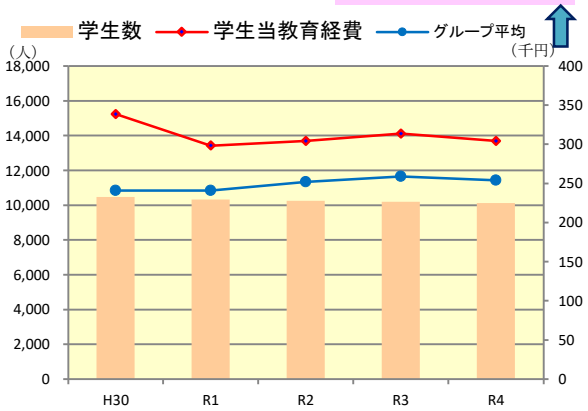
Ⅱ活動性

Ⅱ－Ⅰ学生当教育経費【教育経費÷学生数(5月1日現在)】

Gグループ1位

学生ひとり当たりの教育経費を表す指標であり、**数値が高い**ほど教育に多く費用をかけているため良いとされています。(費用には教職員の人件費や一般管理費は含まれません。)

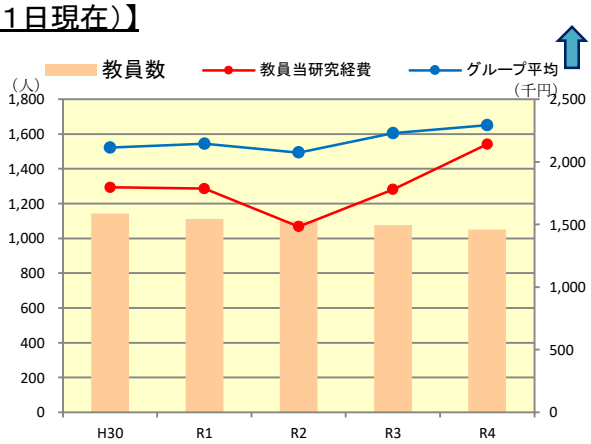
学生数は昨年度よりも70名減少(R4:10,130名)しておりますが、教育経費も消耗品費の削減等により学生当教育経費が低くなっております。本学は教育目的附属施設(練習船や動物病院、演習林等)が多いこと等により同規模大学と比較すると高い水準にあります。



Ⅱ－Ⅱ教員当研究経費【研究経費÷教員数(5月1日現在)】

教員ひとり当たりの研究経費を表す指標であり、**数値が高い**ほど研究に多く費用をかけているため良いとされています。(費用には教職員の人件費や一般管理費は含まれません。)

教員数は昨年度よりも26名減少(R4:1,051名)しておりますが、コロナの規制緩和に伴う旅費交通費及び移転費等の委託費の増加により教員当研究経費が高くなっております。

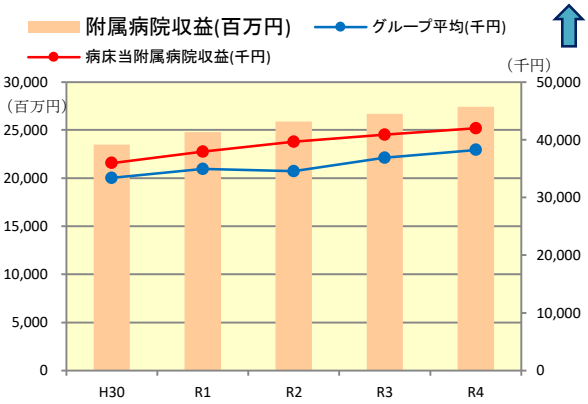


Ⅱ－Ⅲ病床当附属病院収益【附属病院収益÷病床数】

Gグループ1位

大学病院の規模に応じた診療活動の活性度を表す指標であり、**数値が高い**ほど1病床当たりの病院収益を示すため効率的に収益を確保しているため良いとされています。

病床数は昨年度と同様(653床)ですが、平均在院日数の短縮、手術件数の増加により入院診療単価が向上したこと及び外来診療単価及び外来患者数の増加により病院収益が増加したことにより病床当附属病院収益が高くなっております。

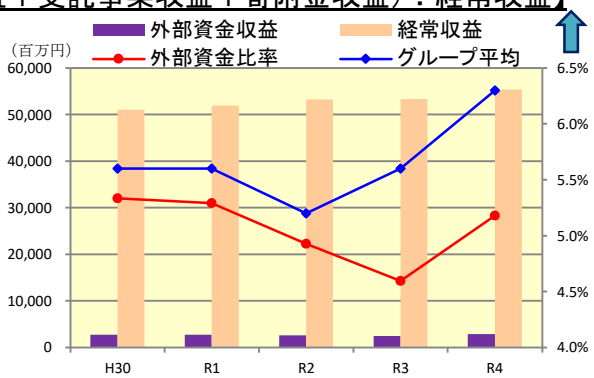


Ⅲ発展性

Ⅲ外部資金比率【(受託研究収益＋共同研究収益＋受託事業収益＋寄附金収益)÷経常収益】

外部資金の獲得状況を表す指標で、**数値が高い**ほど外部資金収益が経常収益に占める割合が高いため良いとされています。

経常収益は、病院収益及び補助金収益等により2,030百万円増加(R4:55,366百万円)していますが、寄附金収益372百万円増加(R4:1,381百万円)したことにより、外部資金比率は高くなっています。

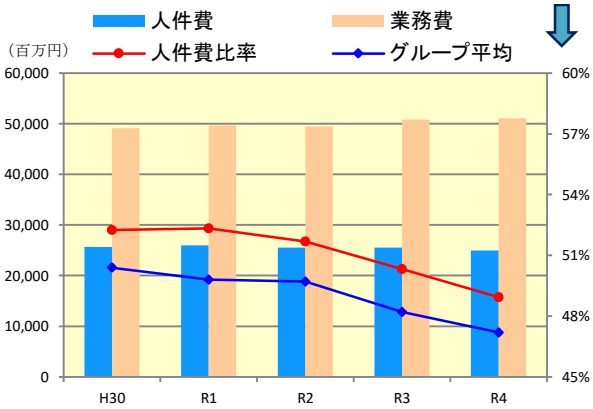


Ⅳ効率性

Ⅳ－Ⅰ業務費対人件費比率【人件費÷業務費】

人件費が業務費に占める割合を表す指標で、**数値が低い**ほど人教育研究活動に向けた財源が確保されているとなるため良いとされています。

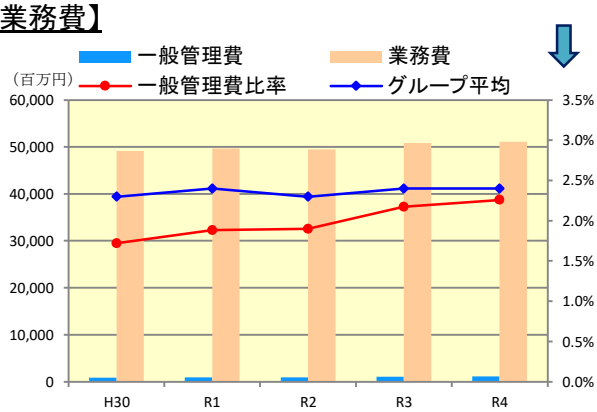
本学では、第3期中期計画期間中において全学的な人件費管理計画を策定して実施しており、人件費が572百万円減少(R4:24,988百万円)した結果、人件費比率が低くなっております。



Ⅳ－Ⅱ業務費対一般管理費比率【一般管理費÷業務費】

経費的側面から大学運営の効率性を表す指標で、**数値が低い**ほど教育研究活動に向けた財源が確保されているため良いとされています。この経費は大学の管理運営費用であり、いかに削減するかが課題となっています。

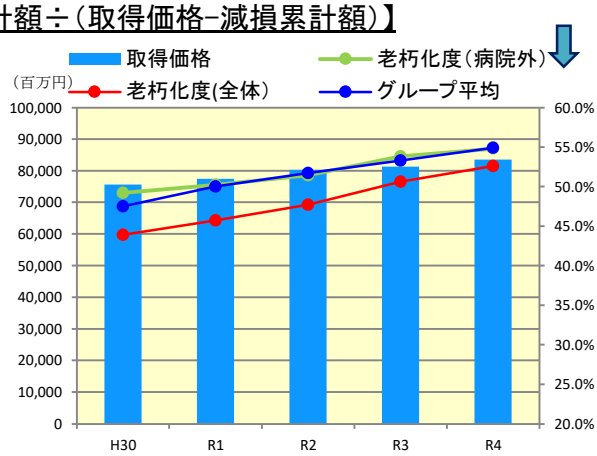
一般管理費が災害復旧に伴う修繕費や光熱水費高騰に伴い51百万円増加(R4:1,154百万円)した結果、一般管理費比率が高くなっております。



Ⅳ－Ⅲ老朽化比率(建物・構築物)【減価償却累計額÷(取得価格−減損累計額)】

資産(建物・構築物)の老朽化比率を表す指標で、**数値が低い**ほど新しい資産が多いといえ、計画的に更新が進んでいると考えられるため良いとされています。

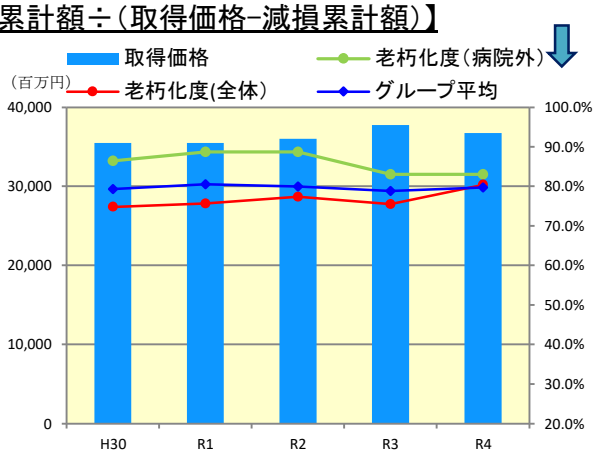
動物実験施設改修や法文学部2号館改修に伴い2,189百万円増加しましたが、減価償却費等以上の更新ができておりませんので、老朽化比率は高くなっております。病院再開発に伴い病院は老朽化度が低く、病院外は同規模大学程度となっております。



Ⅳ－Ⅲ老朽化比率（工具用器具備品）【減価償却累計額÷（取得価格-減損累計額）】

資産（工具用器具備品）の老朽化率を表す指標で、**数値が低い**ほど新しい資産が多いといえ、計画的に更新が進んでいると考えられるため良いとされています。

令和2年度は新型コロナウイルス状況が不明であったため更新を控えていたが、令和3年度に前年度分も含め資産を取得いたしました。令和4年度は減価償却費等以上の更新ができておりませんので、老朽化比率が高くなっております。

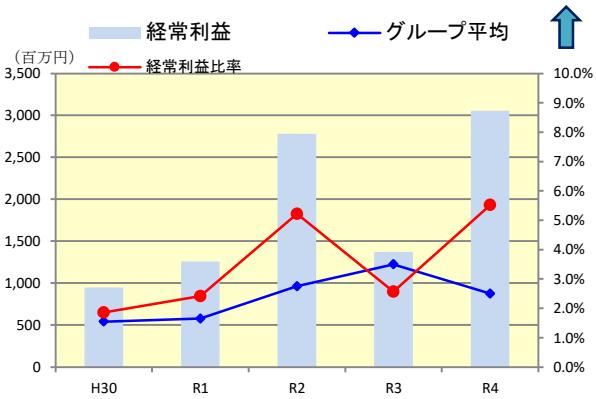


Ⅴ収益性

Ⅴ－Ⅰ経常利益比率【経常利益÷経常収益】

経常収益に対する経常利益の比率を表す指標であり、**数値が高い**ほど収益性が高いため良いとされていますが、国立大学法人は利益獲得を目的としていません。

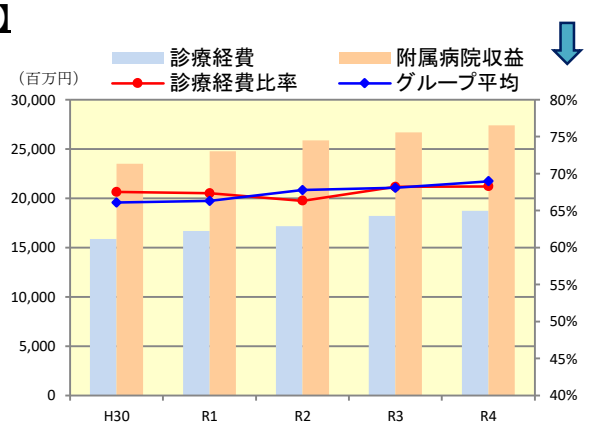
国立大学法人会計基準の変更に伴い資産見返負債がなくなったことや病院収益及び補助金収益が伸びたことにより経常収益が2,030百万円増加（R4:55,366百万円）したため経常利益比率が高くなっております。



Ⅴ－Ⅱ診療経費比率【診療経費÷附属病院収益】

附属病院の収益性を表す指標で、**数値が低い**ほど費用対効果の面で収益性が高いといえ良いとされています。ます。（費用には人件費は含まれていません。）

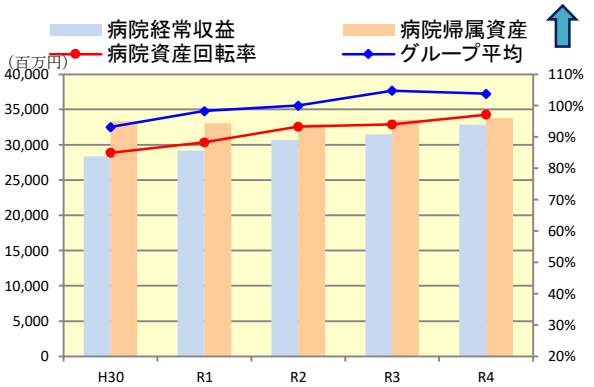
診療報酬稼働額増加に伴う注射薬等の医薬品費及び医療材料等の増加及び光熱水費の高騰により診療経費比率は高くなっております。



Ⅴ－Ⅲ病院資産回転率【附属病院の経常収益÷附属病院の帰属資産】

附属病院の資産を使用してどの程度の活動をしているかを収入面で表す指標であり、**数値が高い**ほど資産を効率的に使用し収益を上げており良いとされています。

附属病院収益は伸びておりますが、病院再開発計画に伴い建物等が更新され、附属病院の帰属資産が大きくなっていることから病院資産回転率が小さくなっております。



財務諸表等については、本学ホームページ上に掲載し公表しておりますが、本学の財政状態や運営状況及び教育・研究・診療等に係る活動内容を、本学を支えてくださる多くの方々に分かりやすくご説明しご理解いただくことを目的として、例年この「財務諸表の概説」を作成しています。

また、国立大学法人特有の会計処理や財務諸表の見方については、別冊「財務のミカタ」で分かりやすくまとめておりますので併せて確認いただければと思います。

この報告書が、皆様にとって本学の財務状況をご理解いただく一助となれば幸いでございます。

【鹿大「進取の精神」支援基金のご案内】

鹿大「進取の精神」支援基金は、地域活性化の中核的拠点の構築、世界に開かれた教育・研究拠点の形成を図るため、人材育成及びイノベーションの機能の強化、質の高い教育研究の推進及び地域貢献活動の一層の活性化に向けて整備・充実を図ることを目的としております。

本基金の趣旨にご賛同いただき、皆様のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

https://www.kagoshima-u.ac.jp/kifukin/

＜お問い合わせ先：総務課 広報・渉外室 ｜ TEL 099-285-3101＞

鹿児島大学公式マスコットキャラクター

さつつん

薩摩の偉人たちの歴史を思わせる紋付き袴と
頭の桜島が特徴の大きなしろくまのキャラクター。
名前の出来は薩摩の「さつ」と西郷隆盛の愛犬「つん」。

編集・発行　鹿児島大学財務部財務課決算係
〒890-8580 鹿児島市郡元1丁目21番24号
［電話］099-285-7135［FAX］099-285-7145
発行月　令和　5年　9月